

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和6年度）

施設名	吹田市資源リサイクルセンター	所管部室課名	環境部環境政策室
所在地	吹田市千里万博公園4-3	設置年月日	平成4年11月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	ごみの減量、再資源化及び再生利用の推進を図り、快適な生活環境づくりや持続可能な社会の実現を目指す。		
(2)規模、開館日等	【規模】 1 市民工房2 : 30人 6 展示室 : 170㎡ 2 マルチホール : 270人 7 会議室 : 30人 3 講義室1 : 45人 8 和室 : 12人 4 講義室2 : 81人 5 生活学習室 : 24人	【開館日等】 1 開館時間：午前9時～午後5時 2 休館日：月曜日、年末年始（12/29～1/3）、国民の祝日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日も休館日）、施設点検日（年間1日程度）	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	公益財団法人 千里リサイクルプラザ					
(2)指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	非公募					
(4)指定管理者 が行う業務内 容	1 市民工房の運営事業 6 施設の使用許可及び使用料の徴収業務 2 不用品交換事業 7 施設の維持管理業務 3 市民・事業者向け啓発事業 8 視察・見学者の対応業務 4 調査及び研究事業 9 多様な主体と連携業務 5 展示等に関する事業 10 吹田市資源リサイクルセンター事業の 					

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和5年度		令和6年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	貸室利用件数（利用率）（件）	600（19.0%）	666（22.2%）	600（19.0%）	529（17.0%）
2	貸室利用人数（人）	13,000	15,098	13,000	13,377
3	視察・見学者数（団体数）（人）	4,500（65団体）	5,272（77団体）	4,500（65団体）	6,061（79団体）
4	工房利用者数（受託のみ）（人）	4,000	3,942	4,000	3,757
5	講演会参加者数（回数）（人）	60（1回）	47（1回）	50（1回）	52（1回）
6	あけます・もらいますコーナー 持ち込み品数（持ち帰り品数）（品）	18,000（12,500）	18,915（14,908）	19,000（15,000）	21,000（16,441）
7	常設型フリーマーケット来室者数（出店数）（人）	6,000（250店）	6,519（250店）	6,000（250店）	5,332（199店）
8	環境出前講座参加者数（回数）（人）	1,150（70回）	1,686（94回）	1,700（95回）	1,815（100回）

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	1 各市民工房利用や施設見学、展示室（出張展示を含む）等でのアンケート 2 メールや電話、SNSを通じた意見・提案 3 ホームページのアクセスデータ分析
(2)把握結果	1 再生家具をいつでも販売して欲しい 2 おもちゃ病院の場所が分かりにくい 3 ホームページの種々の情報をより分かりやすいものにして欲しい
(3)結果を受けての対応状況	1 再生家具の販売方法をオークション販売から随時販売へ変更（再生家具は随時ホームページに掲載） 2 おもちゃ病院の場所をB棟会議室からA棟講義室Ⅰへ変更 3 イベントや体験、講座開催等の利用者へのSNSを用いた情報提供

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・市民、企業、団体等と協働し、施設の設置目的に沿った運営が行われている。 ・関係法令を遵守した運営が行われており、利用者の公平性が確保されている。 ・指定管理者が定める個人情報保護規則に基づき、個人情報は適正に取り扱われている。また、個人番号も適正に取り扱われている。
(2)施設の効用の発揮	・施設の設置目的に沿った事業計画を策定し、市からの受託事業に加え、魅力ある自主事業を実施するなど、施設の有効活用を図っている。 ・施設A棟4階エレベーターホールを中心とした施設センスアップ等、新たなことに取り組んでいる。 ・利用者サービスの向上を図るため、利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・適切な管理運営体制が構築できるように人員配置を行っている。 ・安全性の確保が求められる自転車工房では、有資格者を配置し、他の工房についても熟練者を人員配置している。 ・業務内容、内部管理、接遇、災害等に関する研修（OJT研修含む。）は概ね実施されている。また、環境総合展示会（エコプロ）に参加し、環境に関する情報の収集に努めている。 ・本市からの指定管理委託料に加え、基本財産の運用益により安定的な事業運営が行われている。
(4)施設の管理経費の縮減	・デジタル化による印刷紙消費量の削減等、経費の削減に努めており、毎年度、決算報告時には、余剰金を市に返納している。
(5)環境配慮等	・マイボトル等の利用や、利用していない場所の消灯に努めている。また、資源の分別を徹底し資源化に努めている。 ・令和4年度から、環境社会検定（エコ検定）の資格取得を推進し、知識向上に向け、職員の育成を図っており、新規採用者以外の該当者は資格を取得している。
(6)総合評価	循環型社会の形成に向け、市からの受託事業に加え、多様な自主事業を実施しており、市民に対するごみ減量・再資源化の啓発や本市第3次環境基本計画に掲げる重点戦略の推進などに貢献している。例えば、比較的新しく開始した環境啓発動画コンテストは、地球温暖化、食品ロス、プラスチックごみ等の問題を様々な角度から応募者自らが考え、その内容を動画にすることで、応募者及び動画視聴者の環境意識の向上につながっている。一方、利用者のニーズを満たすためにも、ホームページのセンスアップ（見やすさ、ページ全体の統一感等）にも取り組まれない。